

いま、ワクチン接種を考えている皆様へ
命を守る
大切な
お知らせ
です



24年秋以降

従来ワクチンの多くが、
新型コロナワクチン同様の、
遺伝子(mRNA)ワクチン*に
切り替わります。
従来型ワクチンとは
全く別物です！



*遺伝子(mRNA)ワクチンは、新型コロナ騒動下、わずか1年で特例承認された、人類史上初の遺伝子製剤です。本来は承認前に厳しい試験・実験が必要、承認後もリスクを周知徹底することが必須です。

遺伝子(mRNA)ワクチン接種の際は、万が一の被害発生に備えて下記2点を行ってください



①ワクチン接種証明書を必ず保管してください

Point!

ワクチン接種証明書には製造番号が記載されています。

万一のとき、製造番号があなたとあなたの家族を守る切り札になるので、必ず保管ください。

下記は、21年以降**死亡事例**を多数起こしたF社の製造番号例です。
※遺伝子ワクチンは製造の都合上、特定ロットに被害が集中しやすい特徴があります

国はもっと把握しているはずよ！

EX3617 FC3661 FA5765 EY2173 EW4811
EY5420 FA4597 EY0779 EY4834 FA7338

公開しろー

これが
死の
ロット番号！

有志医師調べ。M社も同様。問題のロットは多数あります。



②体調に変化があった場合は、こまめに病状を記録してください

Point!

遺伝子ワクチンによる健康被害は全身で発生、早発型・遅発型・晚発型があり、個々人の体調・体质により発症時期・発症箇所はまちまちです。ワクチン接種により免疫力が低下して発症する事例も多いのですが、大半の人は**ワクチンが原因と気付いていません**。

※遺伝子ワクチンにより、人間本来の免疫力を低下させる悪玉抗体(IgG4抗体)が誘導され、癌などの持病が悪化することが論文発表されています。

薬害です！

コロナ後遺症
ではありません！

【遺伝子ワクチンで発生している健康被害例】

血栓症 心筋炎 ターボ癌(急速進行性) 腎疾患
帯状疱疹 月経異常 リウマチ 自己免疫疾患

健康被害詳細



その他にも、倦怠感、歩行困難、脱毛症、難聴、失明など、ほぼ全身にワクチンには毒物反応がないため、被害認定には困難が伴います。早発型以外の認定はかなり難しいのが実情です。この遺伝子ワクチンによる健康被害は世界中で発生、殆どの国でワクチン接種は既に中止しています。8回も接種している日本は世界と比べて突出しており、異常状態です。

WOW!

ワタシタチ
ワクチン
ヤメタヨー



マスクモ
ヤメタヨー

ところで、



これだけ危険な「遺伝子(mRNA)ワクチン」、あなたは
それでも接種しますか？よく考えて判断しませんか？

- ・国はこの危険な遺伝子ワクチンを、2030年までに300種類以上用意しようとしています。
- ・24年秋、更に危険な**“自己増殖型”**新型コロナワクチンが登場！ ⇒裏面参照ください